

予 告

令和5年度 特色入試入学者選抜方法における変更について

◇経済学部の変更について(予告)

経済学部では、令和5年度以降の特色入試について、以下のとおり変更する予定です。

1. 試験実施方式として総合型選抜を廃止し、学校推薦型選抜を実施します。
2. 募集定員は「文系型入試」15名、「理系型入試」10名とします。
3. 推薦要件として、次のすべての要件を満たすこと。
 - (1) 人格・見識ともに特段に優れており、文系型入試もしくは理系型入試の求める人物像に合致した人材として、学校長が責任をもって推薦する者
 - (2) 大学院への進学や経済学の研究に興味がある者
 - (3) 調査書の全体の学習成績の状況が概ね 4.3 以上の者
 - (4) 令和5年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
 - (5) 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
 - (6) TOEFL iBT スコアが概ね 80 点以上、IELTS(アカデミック・モジュール)でオーバーオール・バンドスコア 6.0 以上、TOEIC Listening & Reading Test スコアが概ね 800 点以上、GTEC スコア(CBTに限る)が概ね 1190 点以上、実用英語検定(英検)(英検 CBT・英検 S-CBT・英検 S-Interview も認める)準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者

文系型入試

- (7) 課外活動(日本語または英語による論文・ディベートコンテスト等を含む)や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著なリーダーシップや課題発見・解決力を示した者

理系型入試

- (7) 科学に関する課外活動(国際的な科学競技会を含む)や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者、又は高校課程の数学、物理、化学、生物の内少なくとも1科目においてきわめて優れた学業成績を修めた者
- (8) 数学Ⅲを履修した者

4. 各学校長が推薦できる人数は、文系型、理系型それぞれ2名までとします。

5. 提出書類

- (1) 調査書
- (2) 推薦書(大学院進学への興味についても言及すること)
- (3) 学びの設計書(大学院に進学した場合どのような研究をしたいかという抱負を含む。文系型入試では国際的問題に対する関心についても記載すること)
- (4) 顕著な活動・学習実績の概要
- (5) TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Test、GTEC(CBTに限る)の受験者成績書の原本(コピー不可)、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本(コピー不可)のうち少なくとも1つ

6. 大学入学共通テスト利用教科・科目名

文系型入試

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B(必ず選択すること)、及び日本史B、地理B、「倫理, 政治・経済」から1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2※1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

理系型入試

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理, 政治・経済」から1 ※3

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理(必ず選択すること)、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1: 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算します。

※2: 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

※3: 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

7. 選抜方法および基準

文系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が900点満点中概ね80%以上であり、「世界史B」、「外国語」の2科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

理系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が900点満点中概ね80%以上であり、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「物理」の3科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。